

第 41 回

多摩市政世論調査報告書 概要版（抜粋）



令和 8 年 1 月

多 摩 市

目 次

I 調査の概要	1
II 調査対象者の特性	2
III 調査結果の分析	4
1. 定住意向	4
(1) 居住年数	4
(2) 多摩市の認識	4
(3) 定住意向	5
2. 生活環境	5
(1) 住みよさの総合評価	5
(2) 生活環境の総合評価	6
3. 環境問題の関心	6
(1) 関心のある地域レベルの環境問題	6
4. 地域活動と生涯学習	7
(1) 地域活動の現況と参加意向	7
5. 日常生活での実感	8
(1) 現在の幸福度	8
(2) 日常生活の悩み・不安	8
6. 暮らし向き	9
(1) 暮らし向きの変化	9
(2) 暮らし向きの悪化理由	9
7. たま広報・公式ホームページ	9
(1) 「たま広報」の精読度	9
8. 市政への要望	10
(1) 行政に特に力を入れてほしいこと	10
9. 生活の中での実感	11
(1) 日常生活での実感	11
10. いざという時の近所との関わり	12
(1) いざという時の近隣協力関係	12
(2) 地域での助け合える関係	12
11. 多文化共生	12
参考資料 第4 1回多摩市政世論調査報告書 章立	13

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の定住意向や居住地域に対する考え方、市政に対する要望などを把握し、行政の参考資料とするものである。

2. 調査の設計

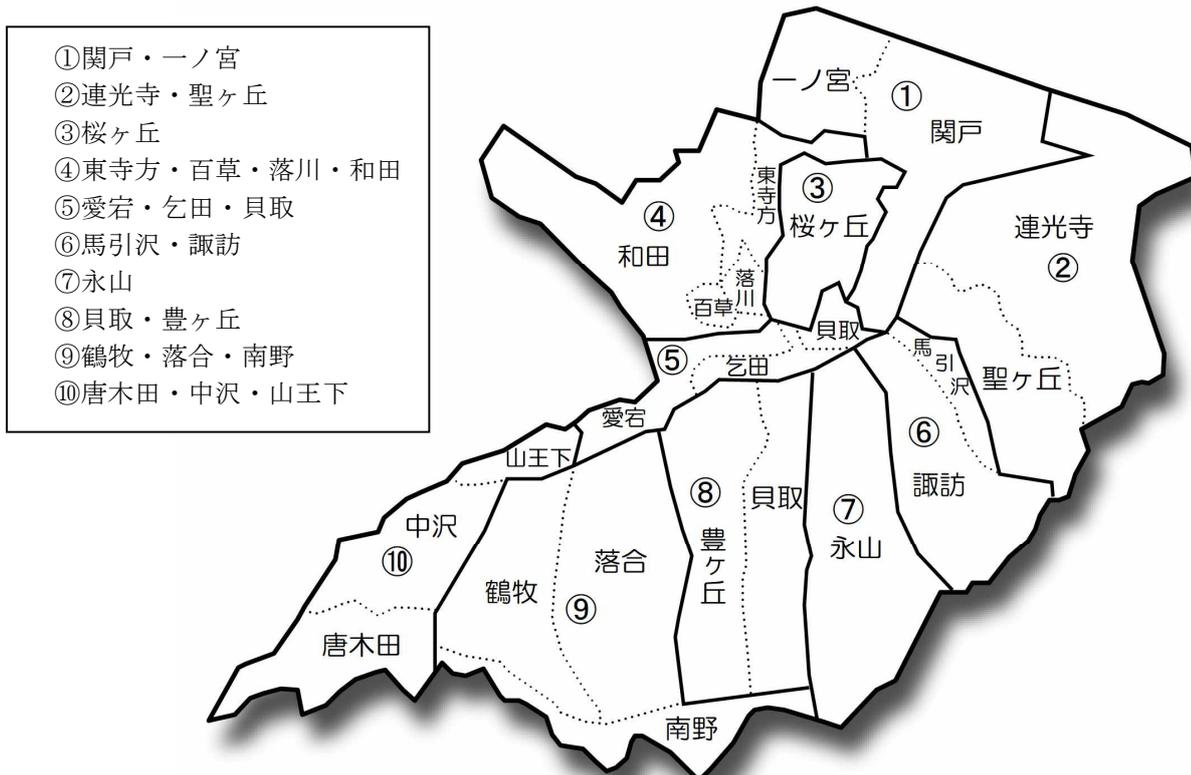
- (1) 調査地域・・・多摩市全域
- (2) 調査対象者・・・多摩市に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数・・・3,000 人
- (4) 抽出方法・・・住民基本台帳からの層化無作為抽出法
- (5) 調査方法・・・調査票郵送配布、郵送・インターネット回答
- (6) 調査時期・・・令和 7 年 7 月 18 日から 8 月 6 日まで

3. 回収結果

- (1) 標本数・・・3,000
- (2) 郵送未達・・・11
- (3) 総回収数(率)・・・1,391(46.4%)
- (4) 有効回答数(率)・・・1,389(46.3%) ※有効回答数は白票等を除く
 - 回答内訳
 - 郵送 894(64.4%)
 - インターネット 495(35.6%)
- (5) 回収不能数(率)・・・1,598(53.3%)

4. 地域別区分図

市内を 10 の地域ブロック(図中の丸数値)、17 の居住地区に分けて集計している。

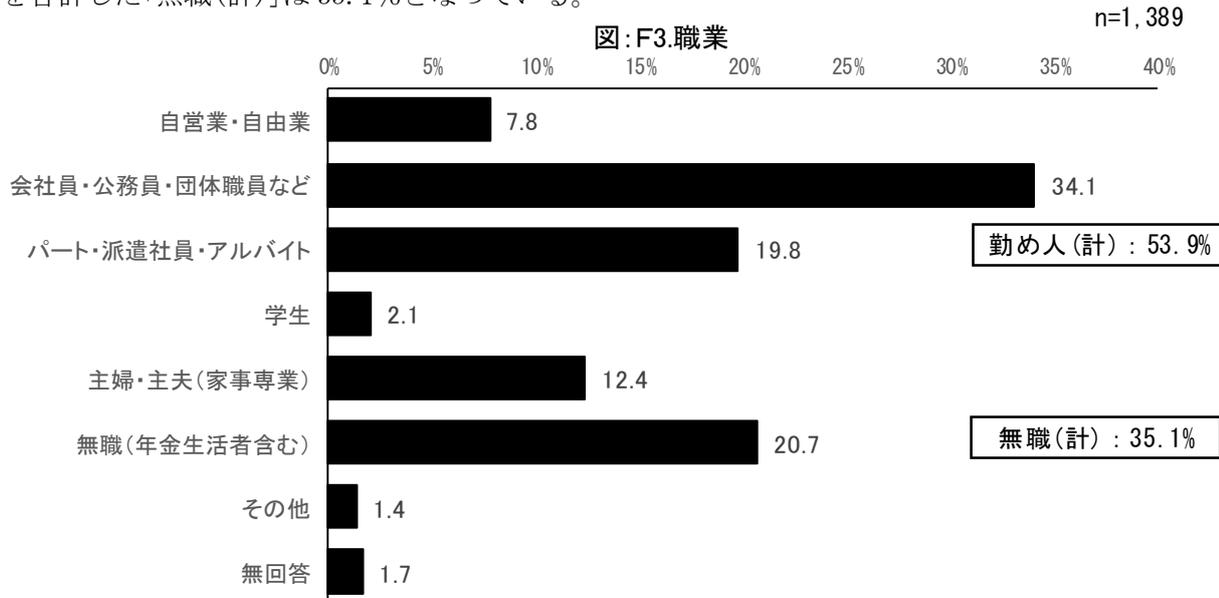


II 調査対象者の特性

【職業】

職業では「会社員・公務員・団体職員など」(34.1%)が最も高く、次いで「無職(年金生活者含む)」(20.7%)、「パート・派遣社員・アルバイト」(19.8%)、「主婦・主夫(家事専業)」(12.4%)、「自営業・自由業」(7.8%)、「学生」(2.1%)の順である。

「会社員・公務員・団体職員など」(34.1%)と「パート・派遣社員・アルバイト」(19.8%)を合計した「勤め人(計)」は53.9%と5割を超える。「学生」(2.1%)、「主婦・主夫(家事専業)」(12.4%)と「無職」(20.7%)を合計した「無職(計)」は35.1%となっている。



【居住形態】

居住形態は「分譲マンション」(38.2%)が最も高く、次いで「一戸建て(持ち家)」(29.5%)と続く。両者を合わせた「持ち家(計)」は67.7%となる。借家では「民間のアパート・マンション(賃貸)」(15.0%)、「UR(旧公団)・公社の賃貸住宅」(9.1%)、「都・市営住宅」(4.5%)の順になっている。

居住地域別では、「持ち家(計)」は連光寺・聖ヶ丘(82.1%)、桜ヶ丘(81.6%)で8割を超えている。一方、「借家(計)」は永山(49.5%)がほぼ5割で最も高く、愛宕・乞田・貝取(42.3%)馬引沢・諏訪(38.5%)で4割前後となっている。

表:F4.居住形態(居住地域別)

		n	一戸建て(持ち家)	分譲マンション	一戸建て(借家)	民間のアパート・マンション(賃貸)	UR(旧公団)・公社の賃貸住宅	都・市営住宅	社宅・寮	その他	無回答	持家(計)	借家(計)	一戸建て(計)	マンション(計)	
全体		1,389	29.5	38.2	1.1	15.0	9.1	4.5	0.3	0.6	1.7	67.7	29.9	30.6	53.2	
居住地域別	関戸・一ノ宮	160	34.4	35.6	2.5	21.9	1.3	1.9	0.6	—	1.9	70.0	28.1	36.9	57.5	
	連光寺・聖ヶ丘	145	63.4	18.6	2.8	6.9	3.4	1.4	—	—	3.4	82.1	14.5	66.2	25.5	
	桜ヶ丘	76	69.7	11.8	3.9	13.2	—	—	—	—	1.3	81.6	17.1	73.7	25.0	
	東寺方・百草・落川・和田	133	51.1	17.3	1.5	18.8	8.3	1.5	—	1.5	—	68.4	30.1	52.6	36.1	
	愛宕・乞田・貝取	130	21.5	34.6	0.8	23.1	6.2	12.3	—	0.8	0.8	56.2	42.3	22.3	57.7	
	馬引沢・諏訪	143	21.0	39.2	—	25.2	6.3	7.0	—	0.7	0.7	60.1	38.5	21.0	64.3	
	永山	111	18.9	29.7	—	9.0	36.9	3.6	—	—	1.8	48.6	49.5	18.9	38.7	
	貝取・豊ヶ丘	119	3.4	58.8	—	3.4	21.0	10.1	—	1.7	1.7	62.2	34.5	3.4	62.2	
	鶴牧・落合・南野	196	15.8	58.7	—	7.1	10.2	5.6	0.5	1.0	1.0	74.5	23.5	15.8	65.8	
	唐木田・中沢・山王下	157	15.3	59.2	0.6	19.1	2.5	1.3	1.3	—	0.6	74.5	24.8	15.9	78.3	
	無回答	19	21.1	15.8	—	21.1	10.5	—	—	—	—	31.6	36.8	31.6	21.1	36.8

は全体結果より5%以上大きい値(単位:%)

【ライフステージ】

回答者のライフステージの区分は、第一子の年齢を基準に、以下のように分類した。

1. 独身期(10～30歳代の未婚者)
2. 家族形成期(10～30歳代の子どものいない夫婦、または第一子が未就学の親)
3. 家族成長前期(第一子が小学生～中学生)
4. 家族成長後期(第一子が高校生～大学生)
5. 家族成熟期(第一子または子ども全員が独立(学校卒業・就職、結婚など))
6. 高齢期(65歳以上で子どもと同居)
7. 高齢者世帯(65歳以上で子どもと別居あるいは高齢者のみ)
8. その他(40～64歳の未婚者及び子どものいない夫婦、その他)

ライフステージでは「高齢者世帯」(27.7%)が最も高い。次いで「家族成熟期」(12.5%)、「高齢期」(10.8%)、「独身期」(9.5%)と続く。

居住地域別にみると、「高齢者世帯」は貝取・豊ヶ丘(42.9%)が特に高く、家族成熟期は愛宕・乞田・貝取(17.7%)が高くなっている。

表:F8.ライフステージ(居住地域別)

		n	独身期	家族形成期	前家族成長	後家族成長	家族成熟期	高齢期	高齢者世帯	その他	無回答
全体		1,389	9.5	4.5	7.1	8.6	12.5	10.8	27.7	17.6	1.7
居住地域別	関戸・一ノ宮	160	6.9	6.9	11.3	6.9	10.0	5.6	26.3	24.4	1.9
	連光寺・聖ヶ丘	145	6.9	3.4	3.4	9.0	13.8	18.6	26.2	17.9	0.7
	桜ヶ丘	76	10.5	5.3	5.3	15.8	15.8	7.9	25.0	13.2	1.3
	東寺方・百草・落川・和田	133	9.0	4.5	6.0	9.0	14.3	15.8	24.8	15.8	0.8
	愛宕・乞田・貝取	130	10.0	3.8	6.9	3.1	17.7	10.8	25.4	21.5	0.8
	馬引沢・諏訪	143	7.0	7.7	8.4	5.6	13.3	11.2	26.6	19.6	0.7
	永山	111	6.3	3.6	11.7	8.1	9.9	9.0	34.2	16.2	0.9
	貝取・豊ヶ丘	119	12.6	—	5.9	6.7	6.7	8.4	42.9	16.8	—
	鶴牧・落合・南野	196	11.2	5.1	9.2	11.7	9.7	10.2	28.1	14.8	—
	唐木田・中沢・山王下	157	14.6	3.8	3.2	12.1	17.2	9.6	23.6	15.3	0.6
無回答	19	5.3	—	—	—	—	10.5	5.3	5.3	73.7	

は全体結果より5%以上大きい値(単位:%)

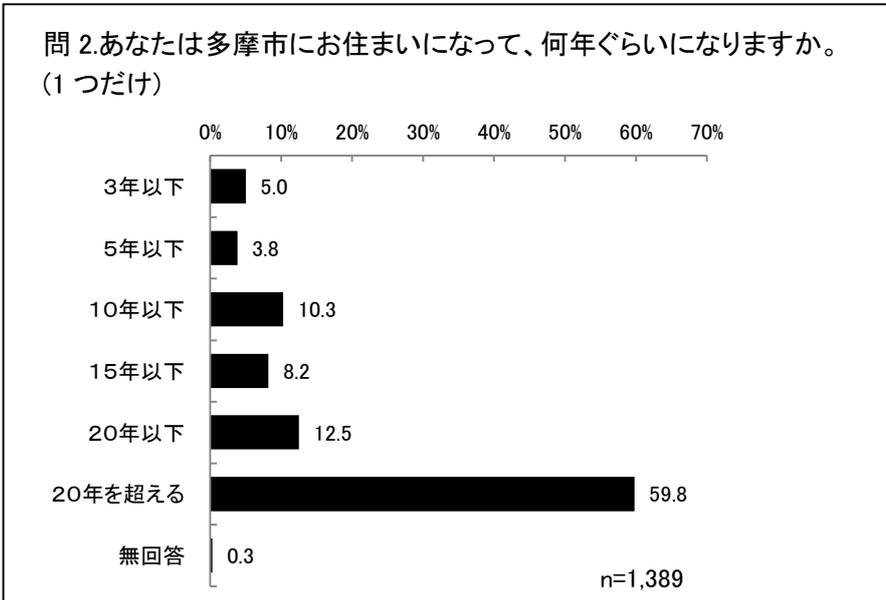
Ⅲ 調査結果の分析

【調査結果の分析を見る際の注意事項】

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- 2つ以上回答してもよい質問(複数回答)の場合、百分率の合計は通常100%を超える。
- 属性別の分析にあたり、各属性サンプル数が少数(30未満)の場合は、参考程度に見ていただきたい。

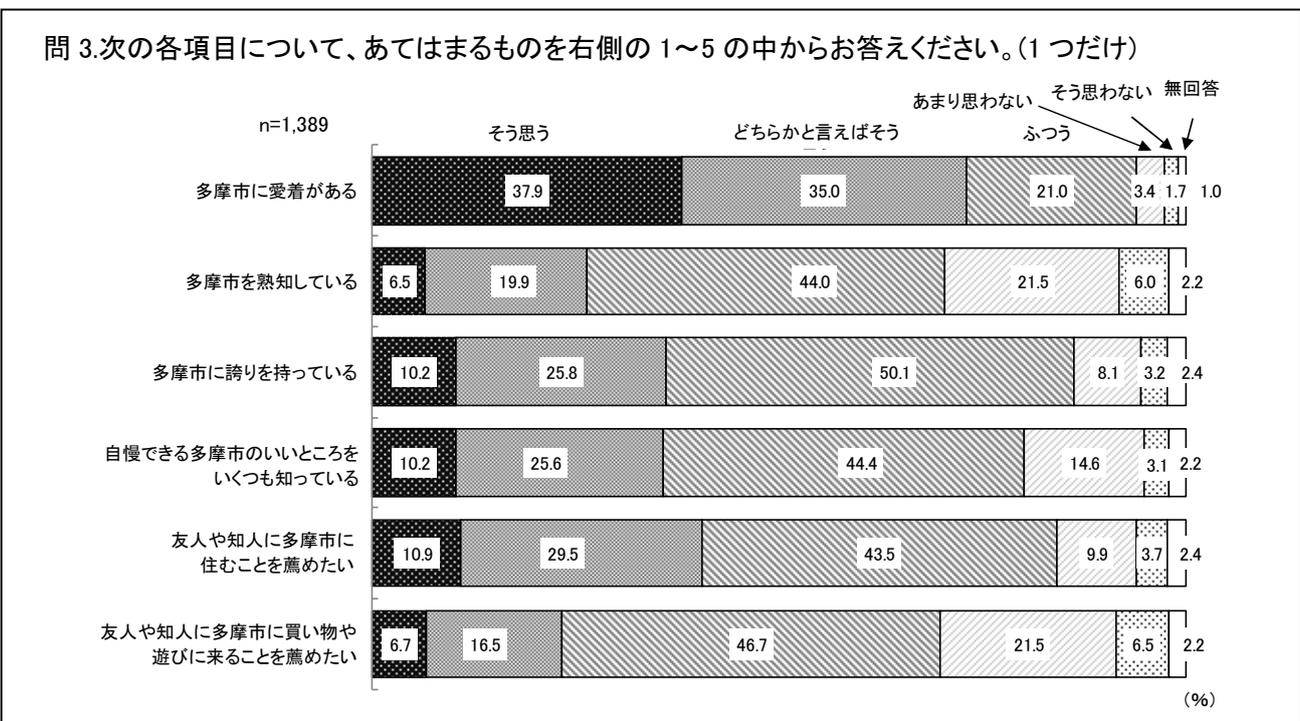
1. 定住意向

(1)居住年数



多摩市における居住年数は、「長期居住者(20年を超える)」が59.8%とほぼ6割に達している。「10年以下」(10.3%)と「15年以下」(8.2%)、「20年以下」(12.5%)を合わせた「中期居住者」が31.0%、「3年以下」(5.0%)と「5年以下」(3.8%)を合わせた「短期居住者(5年以下)」は8.9%となっている。

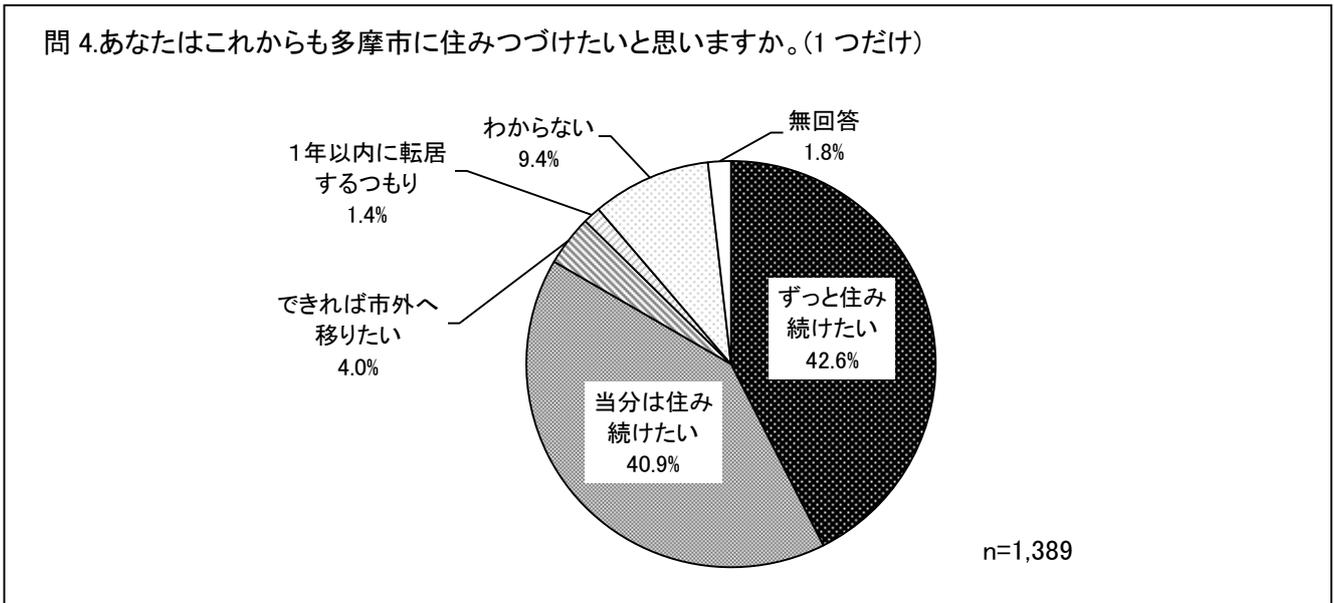
(2)多摩市の認識



多摩市の認識について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価」は、「多摩市に愛着がある」が72.9%となり、他と比べて特に高い。次いで「友人や知人に多摩市に住むことを薦めたい」(40.5%)、「多摩市に誇りを持っている」(36.1%)、「自慢できる多摩市のいいところをいくつも知っている」(35.7%)の順で高くなっている。

「あまり思わない」「そう思わない」を合わせた「否定的評価」は、「友人や知人に多摩市に買い物や遊びに来ることを薦めたい」(28.0%)、「多摩市を熟知している」(27.4%)が高くなっている。

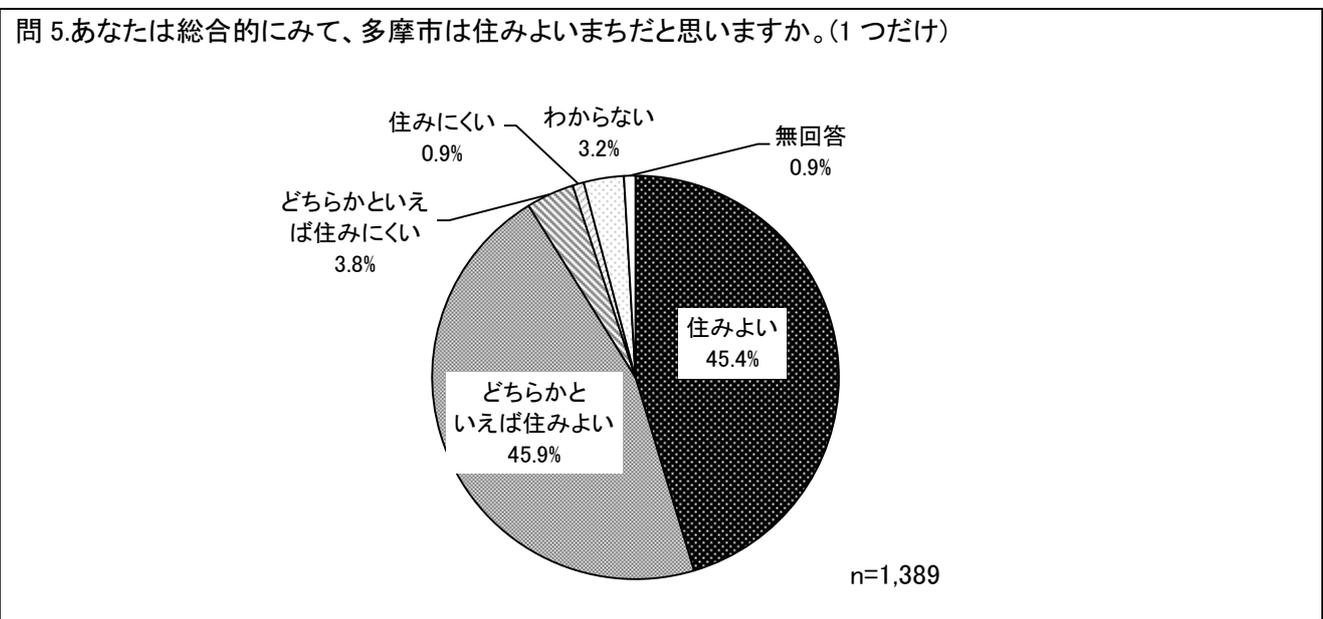
(3)定住意向



多摩市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」(42.6%)、「当分は住み続けたい」(40.9%)を合わせた「定住派」が83.5%と大部分を占めている。反対に「できれば市外へ移りたい」(4.0%)、「1年以内に転居するつもり」(1.4%)を合わせた「転居派」は5.3%にとどまっている。

2. 生活環境

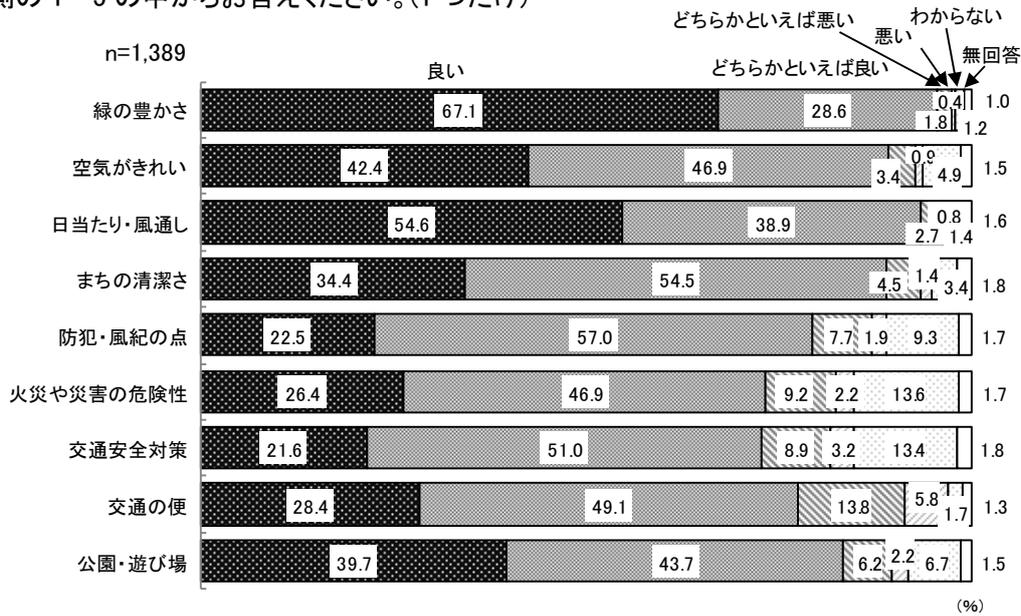
(1)住みよさの総合評価



多摩市の住みよさの総合評価では、「住みよい」(45.4%)、「どちらかといえば住みよい」(45.9%)を合わせた「肯定的評価」が91.2%と全体の9割以上を占めている。「どちらかといえば住みにくい」(3.8%)、「住みにくい」(0.9%)を合わせた「否定的評価」は4.7%にとどまっている。

(2)生活環境の総合評価

問 6.あなたのお住まいの地域環境について、どのような感想をお持ちですか。次にあげる 1)～9)の各項目に、右側の 1～5 の中からお答えください。(1 つだけ)



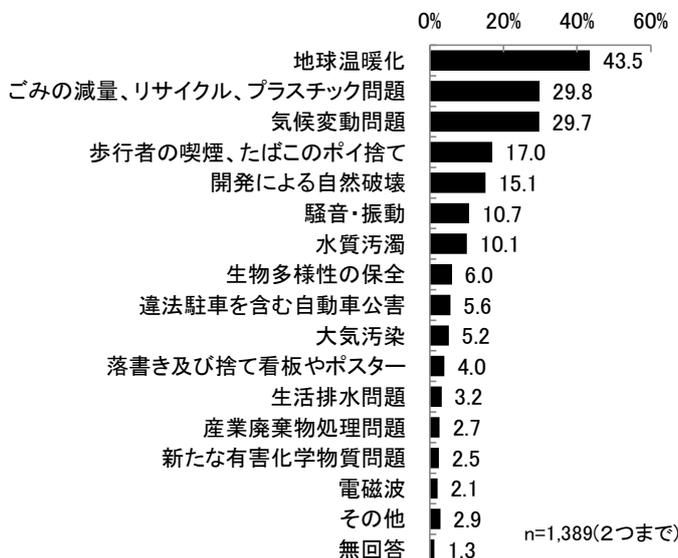
住まいの地域環境は、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた「肯定的評価」では“緑の豊かさ”（95.7%），“日当たり・風通し”（93.5%），“空気がきれい”（89.3%），“まちの清潔さ”（88.9%）といった環境に関する項目が9割程度と上位を占めている。

一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた「否定的評価」では“交通の便”（19.6%）が最も高く、“交通安全対策”（12.1%）、次いで“火災や災害の危険性”（11.4%），“防犯・風紀の点”（9.6%）が1割前後で続き、交通の利便性と安全性に対する評価が低くなっている。

3. 環境問題の関心

(1)関心のある地域レベルの環境問題

問 7.あなたが地域レベルの環境問題について、特に関心がある項目はどれですか。(2 つまで)

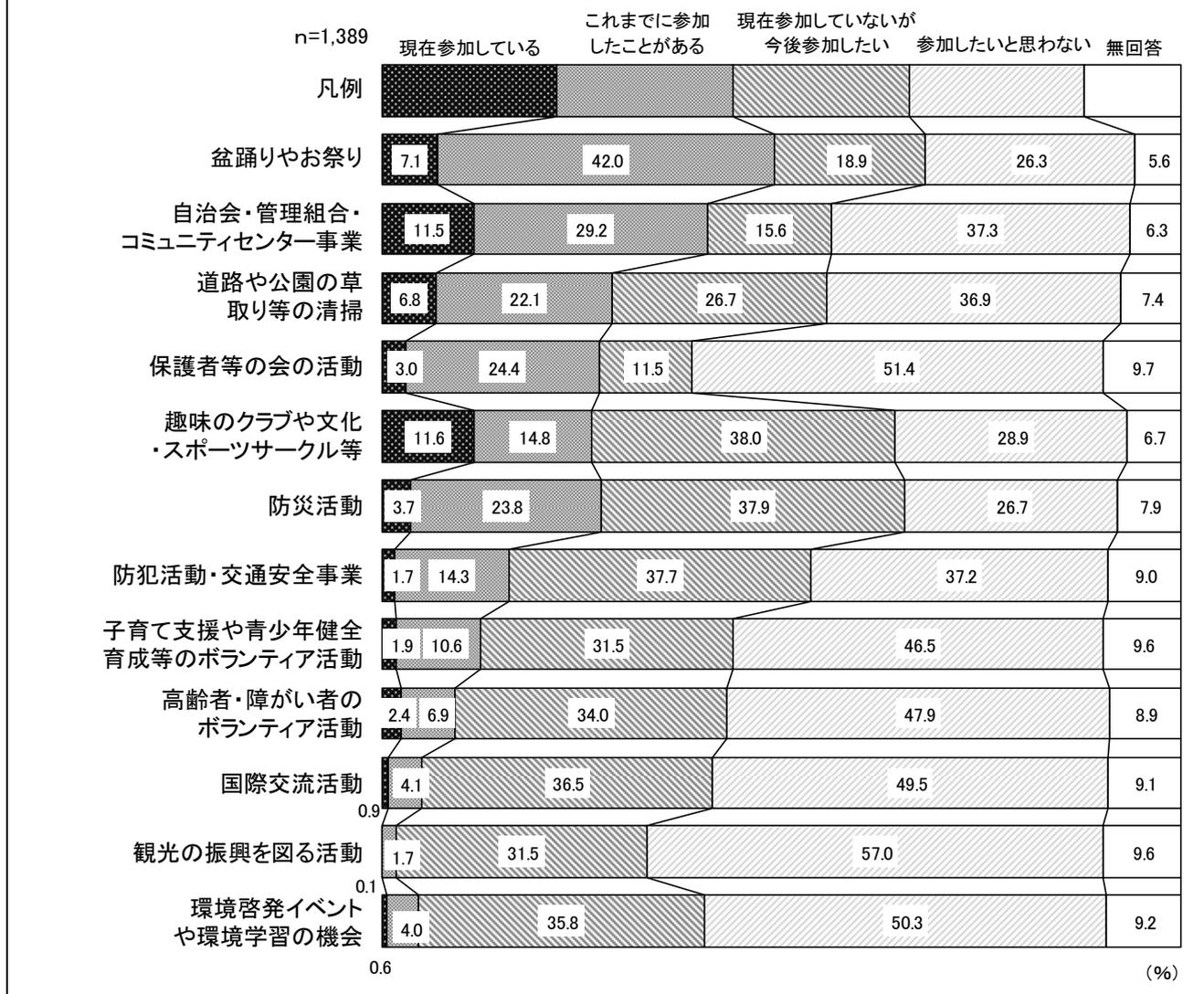


関心のある地域レベルの環境問題は、「地球温暖化」（43.5%）が唯一4割を超え、特に高い。次いで「ごみの減量、リサイクル、プラスチック問題」（29.8%）、「気候変動問題」（29.7%）がほぼ同率で続く。以下「歩行者の喫煙、たばこのポイ捨て」（17.0%）、「開発による自然破壊」（15.1%）の順となっている。

4. 地域活動と生涯学習

(1)地域活動の現況と参加意向

問 10.あなたは現在、地域活動や行事、またはボランティア活動についてどのような状況ですか。1)~12)の各活動について、状況を右側の1~4の中からお答えください。(1つだけ)



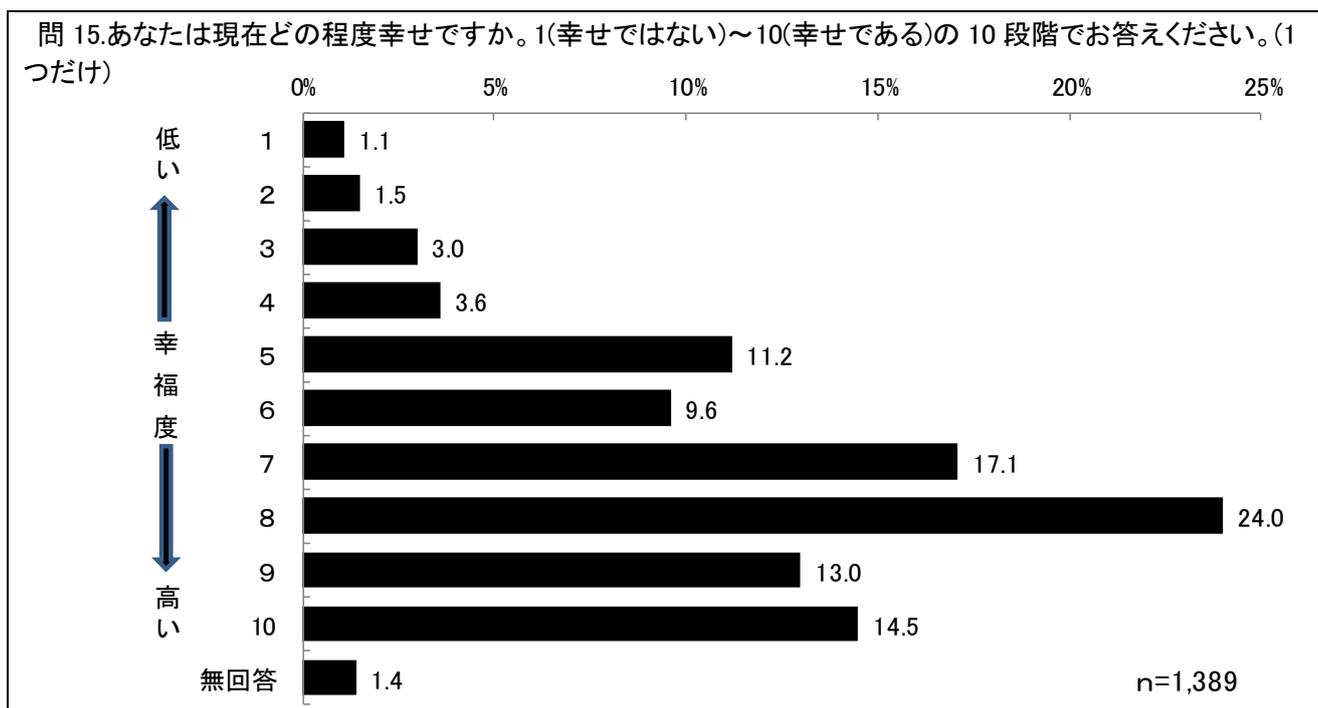
『現在参加している』地域活動としては「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」(11.6%)、「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」(11.5%)が高く、次いで「盆踊りやお祭り」(7.1%)、「道路や公園の草取り等の清掃」(6.8%)と続く。

『これまでに参加したことがある』地域活動は「盆踊りやお祭り」(42.0%)が最も高く、「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」(29.2%)が続く、次いで「保護者等の会の活動」(24.4%)、「防災活動」(23.8%)、「道路や公園の草取り等の清掃」(22.1%)の順となっている。

『現在、参加していないが今後参加してみたい』地域活動は「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」(38.0%)、「防災活動」(37.9%)、「防犯活動・交通安全事業」(37.7%)、「国際交流活動」(36.5%)、「環境啓発イベントや環境学習の機会」(35.8%)、「高齢者・障がい者のボランティア活動」(34.0%)の順となっている。

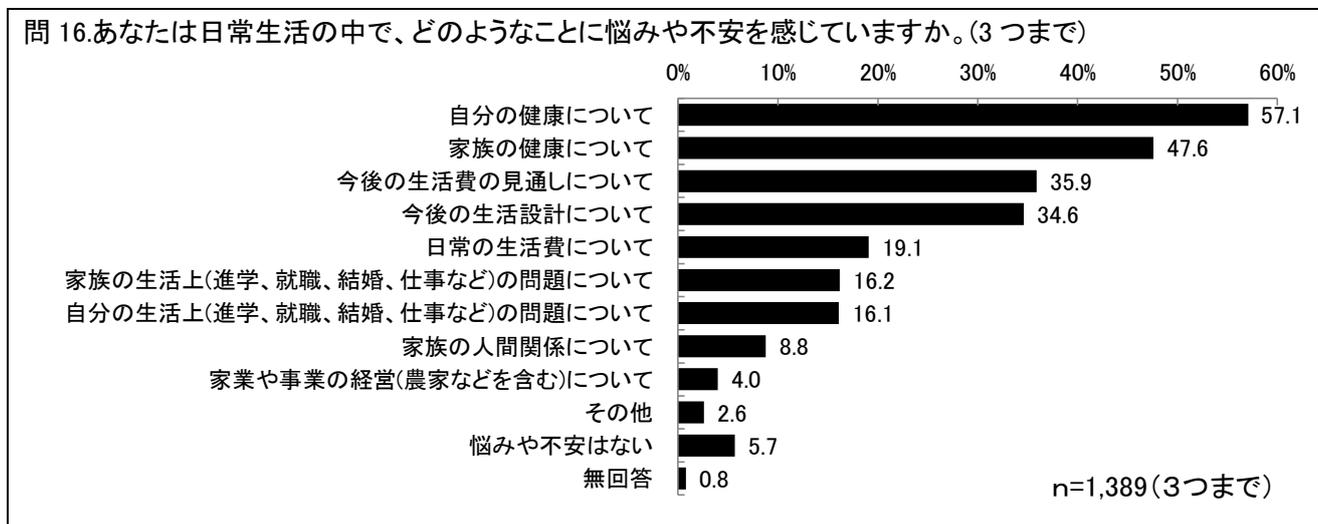
5. 日常生活での実感

(1)現在の幸福度



現在の幸福度について最も多いのが「8」(24.0%)で、次いで「7」(17.1%)、「10」(14.5%)、「9」(13.0%)の順となっている。

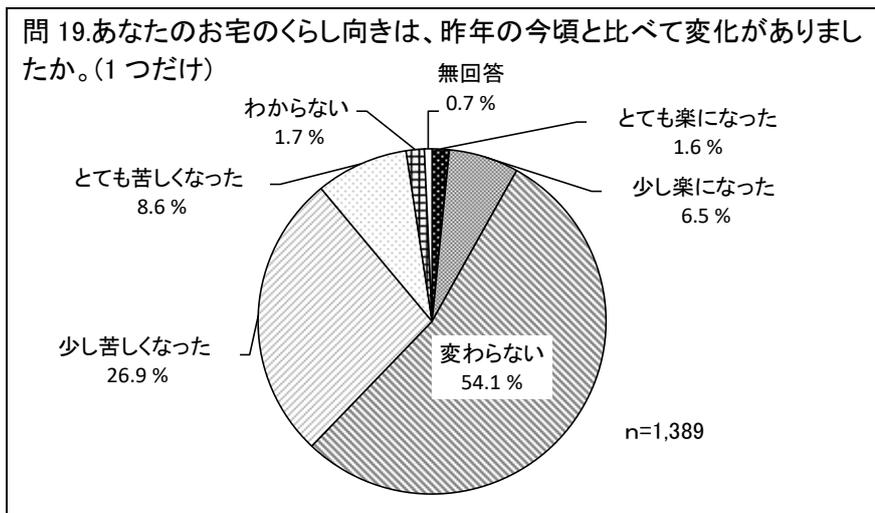
(2)日常生活の悩み・不安



日常生活の悩み・不安は「自分の健康について」(57.1%)、「家族の健康について」(47.6%)が高くなっている。以下、「今後の生活費の見通しについて」(35.9%)、「今後の生活設計について」(34.6%)の順となっている。

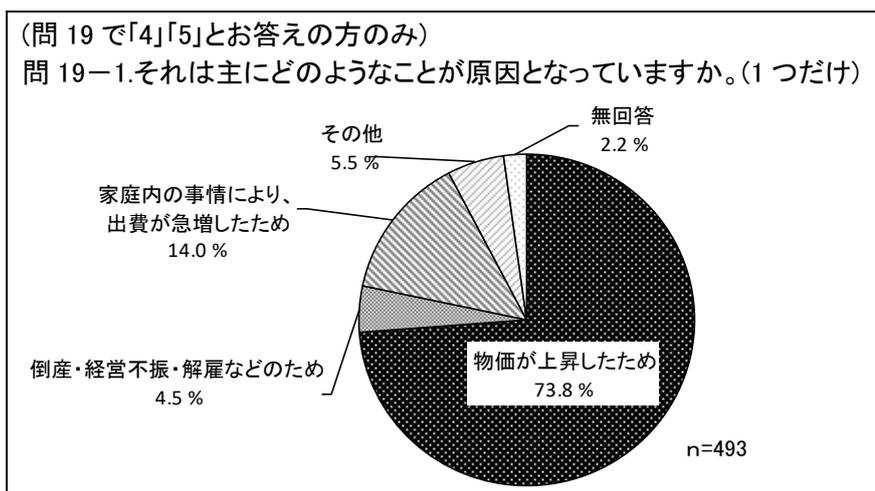
6. 暮らし向き

(1) 暮らし向きの変化



暮らし向きの変化は、前回（令和 5 年）の今頃と比べて「変わらない」（54.1%）が 5 割を超えている。次いで「少し苦しくなった」（26.9%）、「とても苦しくなった」（8.6%）と続いている。「楽になった（計）」は 8.1% と 1 割を下回っている。

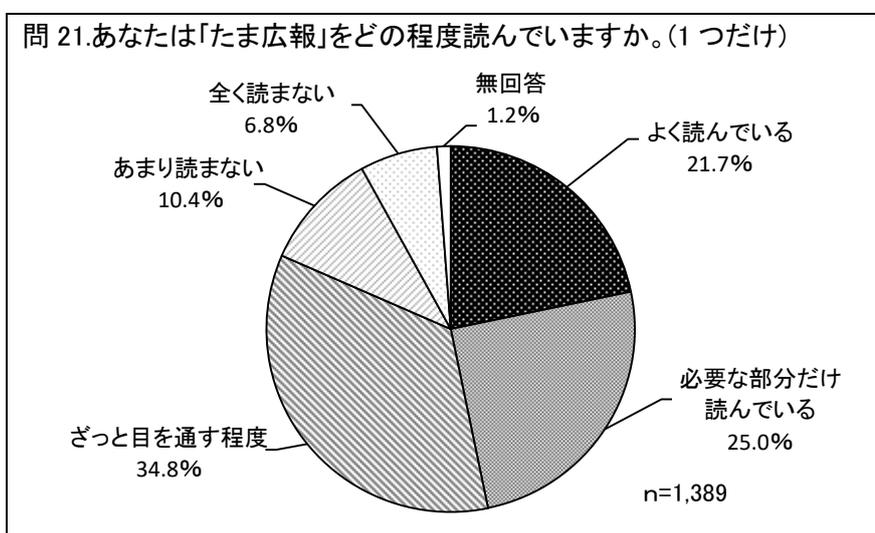
(2) 暮らし向きの悪化理由



暮らし向きの悪化理由は、「物価が上昇したため」（73.8%）が最も高く、次いで「家庭内の事情により、出費が急増したため」（14.0%）となっている。

7. たま広報・公式ホームページ

(1) 「たま広報」の精読度

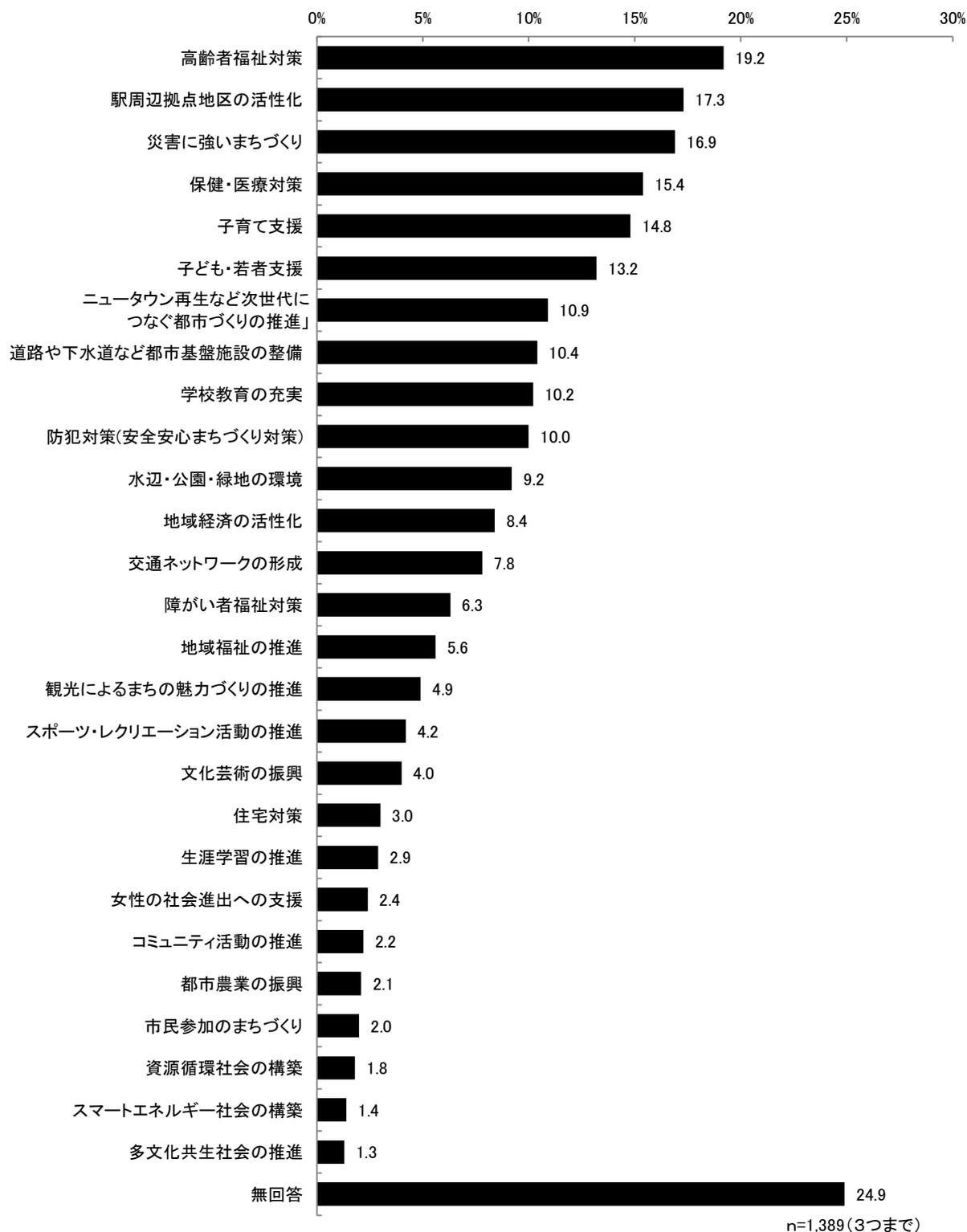


「たま広報」の精読度では、「ざっと目を通す程度」（34.8%）が最も高く、次いで「必要な部分だけ読んでいる」（25.0%）、「よく読んでいる」（21.7%）、「あまり読まない」（10.4%）の順となっている。「よく読んでいる」「必要な部分だけ読んでいる」「ざっと目を通す程度」を合わせた「読んでいる（計）」は 81.5% で、8 割を超えている。

8. 市政への要望

(1)行政に特に力を入れてほしいこと

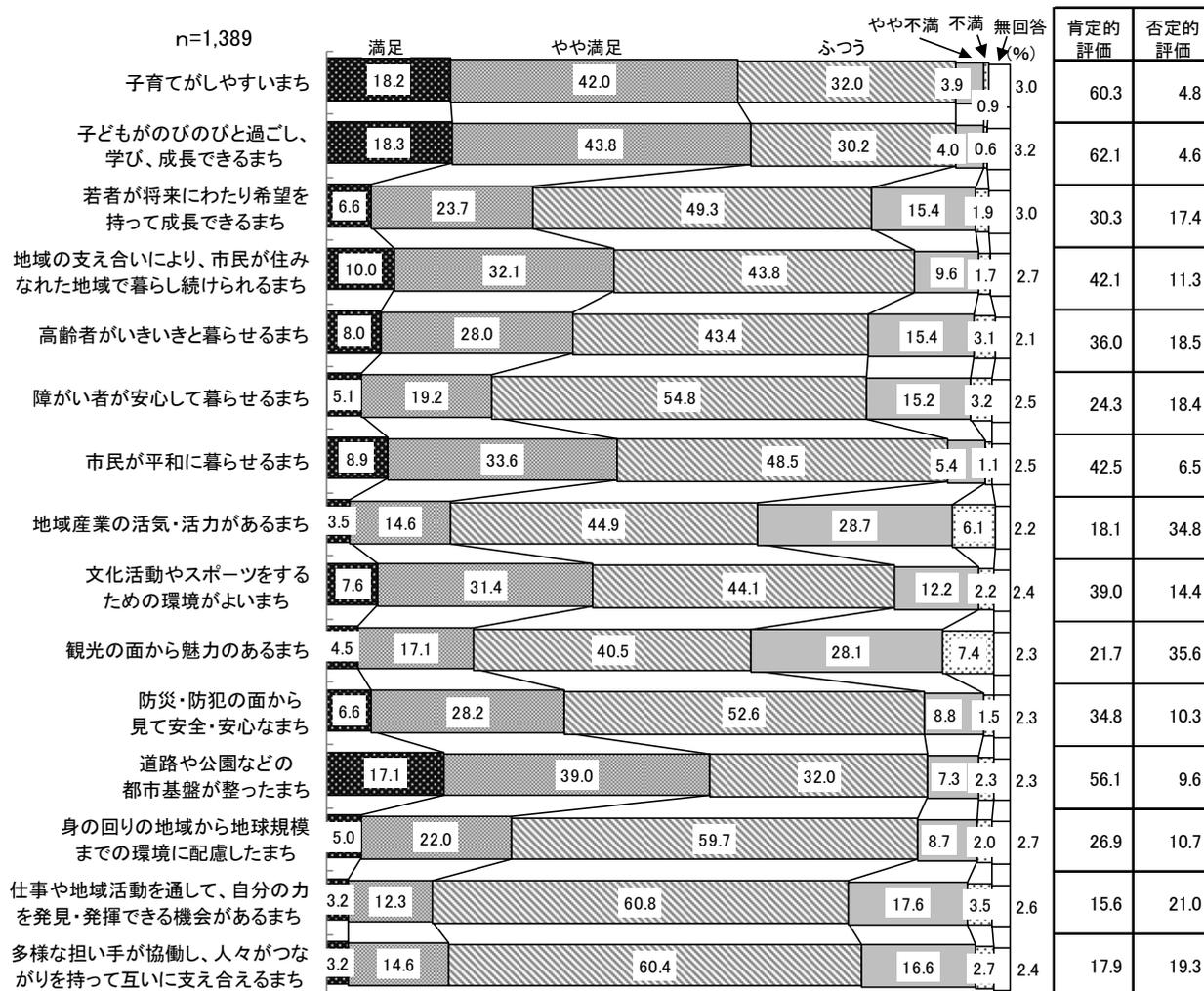
問 33.行政に特に力を入れてほしい項目を 1)の市政全般を除く、2)~28)の中から番号でお答えください。(3 つまで)



行政に特に力を入れてほしい施策は、「高齢者福祉対策」(19.2%)が最も高く、次いで「駅周辺拠点地区の活性化」(17.3%)、「災害に強いまちづくり」(16.9%)、「保健・医療対策」(15.4%)、「子育て支援」(14.8%)の順となっている。

9. 生活の中での実感

(1)日常生活での実感

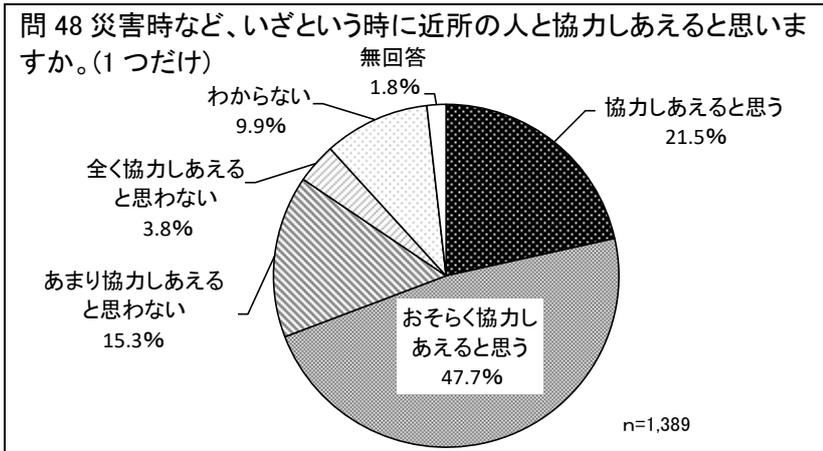


日常生活での実感では、多摩市について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価」は“子どもがのびのびと過ごし、学び、成長できるまち”（62.1%），“子育てがしやすいまち”（60.2%）の“子育て”2項目が6割を超えている。次の“道路や公園などの都市基盤が整ったまち”（56.1%）までが5割を超えている。

それに対して、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定的評価」は、“観光の面から魅力のあるまち”（35.6%），“地域産業の活気・活力があるまち”（34.8%）の2項目が3割を超えている。以下、“仕事や地域活動を通して、自分の力を発見・発揮できる機会があるまち”（21.1%），“多様な担い手が協働し、人々がつながりを持って互いに支え合えるまち”（19.3%），“高齢者がいきいきと暮らせるまち”（18.5%），“障がい者が安心して暮らせるまち”（18.4%）の順に高くなっている。

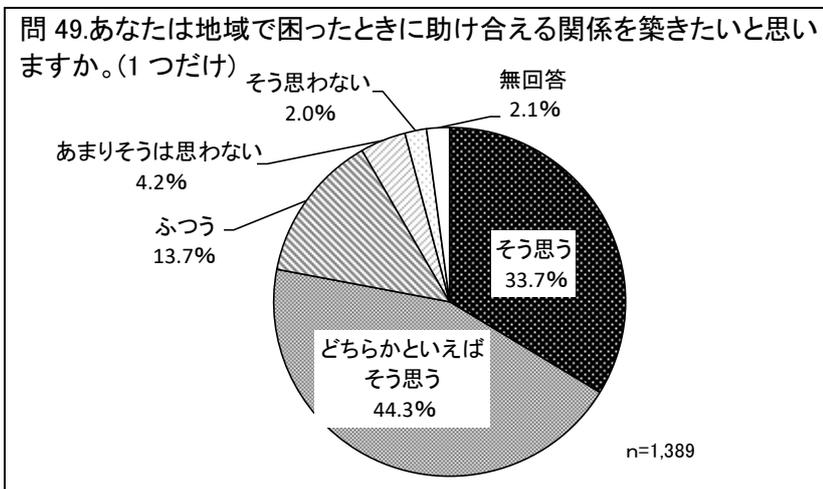
10. いざという時の近所との関わり

(1) いざという時の近隣協力関係



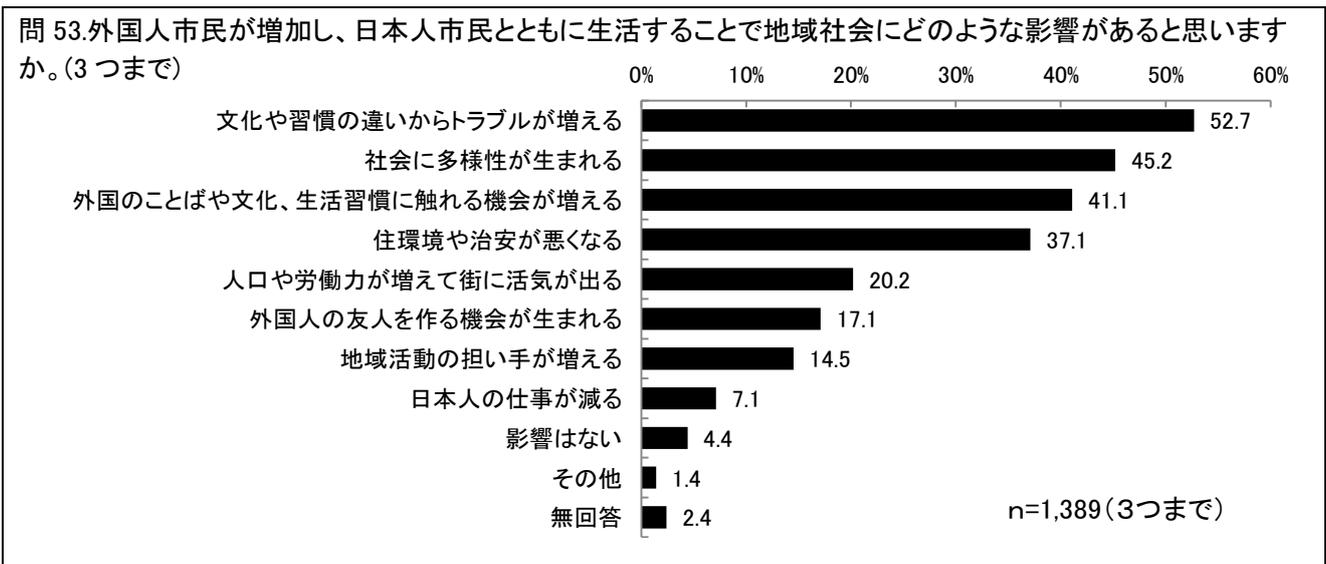
いざという時の近隣協力関係については、「協力しあえると思う」(21.5%)と「おそらく協力しあえると思う」(47.7%)を合わせた「協力できる(計)」(69.3%)はほぼ7割となっている。

(2) 地域での助け合える関係



地域での助け合える関係については、「そう思う」(33.7%)と「どちらかといえばそう思う」(44.3%)を合わせた「そう思う(計)」(78.0%)は8割近くとなっている。

11. 多文化共生



多文化共生については、「文化や習慣の違いからトラブルが増える」(52.7%)が最も高く、「社会に多様性が生まれる」(45.2%)、「外国のことばや文化、生活習慣に触れる機会が増える」(41.1%)、「住環境や治安が悪くなる」(37.1%)と続いている。

参考資料 第41回多摩市政世論調査報告書 章立

* は概要版に一部掲載した項目です。

<ul style="list-style-type: none"> * I 調査の概要 * II 調査対象者の特性 III 質問と回答 * IV 調査結果の分析 * 1. 定住意向 <ul style="list-style-type: none"> (1) 前住地 (2) 転入のきっかけ (3) 多摩市を選んだ理由 * (4) 居住年数 * (5) 多摩市の認識 * (6) 定住意向 <ul style="list-style-type: none"> (7) 転居のきっかけ (8) 転居理由 * 2. 生活環境 <ul style="list-style-type: none"> (1) 住みよさの総合評価 (2) 生活環境の総合評価 * 3. 環境問題の関心 <ul style="list-style-type: none"> (1) 関心のある地域レベルの環境問題 (2) 地球温暖化対策のために市に求める事業 (3) 地球温暖化対策のための日々の取り組み * 4. 地域活動と生涯学習 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域活動の現況と参加意向 (2) 行政が力を入れるべき地域活動 (3) 生涯学習の経験 5. 文化芸術鑑賞状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化芸術の鑑賞頻度 (2) 文化芸術における有料のものの鑑賞頻度 6. 文化芸術の創作状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化や芸術の創作頻度 7. スポーツの実施状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツの実施頻度 * 8. 日常生活での実感 <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の幸福度 (2) 日常生活の悩み・不安 (3) 悩みや不安を相談することへのためらい (4) ためらいを感じる理由 (5) 支えてくれる人の有無 * 9. 暮らし向き <ul style="list-style-type: none"> (1) 暮らし向きの変化 (2) 暮らし向きの悪化理由 10. 市政への関心 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市政への関心度 (2) 市政に関心のない理由 * 11. たま広報・公式ホームページ <ul style="list-style-type: none"> (1) 「たま広報」の精読度 (2) 「たま広報」の関心がある記事 (3) 「たま広報」に求める情報 (4) 市政情報の入手手段 12. 市議会 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市議会への関心の有無 (2) 市議会に関心がない理由 (3) 市議会情報の入手手段 (4) 議会に期待する役割 	<ul style="list-style-type: none"> 13. 窓口対応の満足度 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市役所及び出張所の窓口サービスの満足度 14. 市政の取り組み <ul style="list-style-type: none"> (1) 認知度 (2) 評価度 (3) 認知度と評価度からみた行政ニーズ (4) ライフステージ別広報活動の必要性が高い施策 * 15. 市政への要望 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市政の満足度 * (2) 行政に特に力を入れてほしいこと 16. 市施設の利用状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市施設の認知度と利用状況 * 17. 生活の中での実感 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日常生活での実感 18. 健康・食育 <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の健康状態 (2) 健康づくりへの関心 (3) 健康維持のために実践していること (4) かかりつけの医師の有無 (5) かかりつけの歯科医師の有無 (6) 習慣的な喫煙の有無 (7) 受動喫煙の配慮 (8) 朝食の摂取状況 (9) 野菜のとり方への留意 19. 児童虐待 <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童虐待の通告・相談先の認知度 (2) 知っている通告先 20. ジェンダー平等 <ul style="list-style-type: none"> (1) 男女の地位の平等感 (2) ジェンダー関連用語の認知度 21. 犯罪被害 <ul style="list-style-type: none"> (1) 犯罪被害者等相談窓口の認知度 * 22. いざという時の近所との関わり <ul style="list-style-type: none"> (1) いざという時の近隣協力関係 (2) 地域での助け合える関係 23. 市税 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市税納付方法の認知度 (2) 今後利用を望む市税の納付方法 24. スマートフォンやタブレット <ul style="list-style-type: none"> (1) スマートフォンやタブレットについて現在の所有状況 (2) スマートフォンやタブレットについて将来の所有予定 * 25. 多文化共生 <p>V 結果の数表</p>
---	---

令和8年1月発行

■発行 東京都多摩市 企画政策部 秘書広報課

所 在：東京都多摩市関戸六丁目12番地1

電 話：042（338）6806（直通）

FAX：042（338）3311

多摩市公式ホームページ：<https://www.city.tama.lg.jp/>